

とよなか新時代プラン

豊中市のみなさんへ

市橋
ひろし

豊中に、
新時代を。



SNSで
情報を
発信中!

37歳

1988年豊中市民病院生まれ 2児の父
豊中市民病院生まれ/曾根幼稚園/緑地小/大阪明星学園
関西学院大学公共政策コース卒 / (一社)豊中青年会議所
障がい児支援 サルビアジュニア運営

会社経営を10年 民間のあたりまえを市政に
福祉業界に13年 高齢者・障がい児者を支えるまちづくり
維新と共に15年 学生・大阪維新の会 初代代表

大阪維新の会

おおさかいしんのかい



わたしも
応援
しています

日本維新の会代表
吉村洋文

みなさんとの対話から生まれた まちづくりの政策提案集

- ① 関西ナンバー1の子育て環境を
4年で実現します。
- ② 民間の力を引き出すまちづくりで
行きたくなる場所を増やします。
- ③ 談合が続くほどの
市役所の古い体質を刷新します。

豊中に、 新時代を。

はじめまして。市橋ひろしです。

わたしは市議会議員、地元の経営者、そして、子育てをする一人の父として、生まれ育った豊中とともに歩んできました。このまちを、心から誇りに思っています。

豊中は、住みやすく、落ち着きがあり、これまで多くの人に選ばれてきたまちです。しかし今、これからの人口減少時代の中で、

子育て、まちの活力、市役所のあり方—— このまちの持続可能性に「静かなる危機」が近づいています。隣接する大阪市では維新の改革により、第一子からの保育料無償化や塾代助成など、次世代への投資が進み、人口が増えています。

一方で、豊中市ではこれから人口減少が見込まれています。

さらに市立豊中病院の経営は赤字が続き、物価高の中、水道料金も値上げされました。小さな変化に見えても、これらは確実に未来への大きな課題です。

わたしは、今の豊中に必要なのは未来に向けた**徹底した維新の改革**だと考えています。

そして、この政策集には、**市民との対話**から生まれた課題意識により

「何を守り、何を変え、どこに投資すべきなのか」。

そういった具体策をまとめました。

どうか豊中のこれからを一緒に考えていただければ幸いです。

豊中に、新時代を。

市橋ひろし

プロフィール

いちはし 市橋ひろし 37歳

1988年4月20日 豊中市民病院生まれ

元豊中市議会議員 (株)サルビア代表(2026年3月1日現在)

曾根幼稚園 / 緑地小学校

大阪明星学園中学校・高等学校

関西学院大学 法学部 公共政策コース 卒業

(一社)豊中青年会議所

学生・大阪維新の会 代表(2010～)

2010年 学生・大阪維新の会 結成。
創設期より維新の会とともに活動

株式会社LITALICO(2013～2016)

2013年 障がい福祉のベンチャー企業
「株式会社LITALICO」に新卒入社
障がい児・者の発達支援や就労支援に
携わる。

株式会社サルビア 代表(2016～)

障がい児支援事業「サルビアジュニア」
を7拠点に展開。専門性の高い個別療
育モデルで、のべ1000人以上の障がい
児及びその家庭を支援。その他、保育
所等訪問支援事業、相談支援/就労支
援事業を運営。

豊中市議会議員(2023～2025.2)

2023年の統一地方選にて新人トップ当選。
経営者の目線 / 現役子育て世代の目線
 / 福祉のプロの目線で市政を前に。
2026年2月にリーダーとしての挑戦に
向けて、議員を辞職。
全てをかけて、挑戦します。



政治の道へ進んだきっかけ

不登校から、経営者、市議会議員 そしてまちのリーダーへ

豊中生まれ、豊中育ち

豊中市民病院に生まれ、東京で社会人として働いていた時代を除けば、人生のほとんどの時間をこのまちで過ごしてきました。小さい頃、地域の大人たちと担いでいた神輿を、今度は自分が地域の子どもたちと一緒に担ぐようになりました。豊中は、人との温かいつながりを感じられる、私にとって本当に大切な場所です。

不登校時代

実は、私は子どもの頃、不登校を経験したことがあります。学校や社会の「当たり前」にうまくなじめず、自分はどこか欠けている存在だと思っていました。その場に居場所がないと感じる孤独は、本当につらく、胸が締めつけられるものでした。そんな私を受け入れてくれたのが、この地域の人たちでした。喫茶店や銭湯で声をかけ、居場所をつくってくれた地域の大人たちがいました。今、私が前を向いて生きられているのは、このまちの温かさや支えのおかげです。

地元での起業 経営者として豊中を見つめる

大学卒業後、障害福祉の分野で働いた後、地元で起業しました。発達に課題のある子どもと家族を支えながら、現場でたくさんの声と向き合ってきました。そして地元の中小企業経営者として、地域福祉を支えるため、行政と手を取り合って経営の経験を積んでまいりました。

豊中市議会議員に

経営者として社会課題に向き合う中で、政治や行政からのアプローチの重要性を強く感じるようになりました。民間の経営者視点で市政を見つめると、豊中にはまだまだ改善できる点がある。そう確信しました。そして、子どもの誕生をきっかけに、未来に希望を持てる社会をつくりたいという思いが強まり、2023年の統一地方選挙に大阪維新の会の公認候補として立候補し、新人トップ当選を果たしました。

2023年
統一地方選挙
最終演説の
動画はこちら



地元の神輿を担いで育った子ども時代



今は、地域の子どもと一緒に秋祭りや神輿を担いでいます



発達支援の支援員として、子どもたちに個別支援を提供



豊中に根を張る福祉事業者として70名以上の社員を雇用



統一地方選挙に出馬。当時の宣材写真



選挙最終日曾根駅前前で300人以上の前で最後の演説を



藤田共同代表を豊中にお招きし対談イベント行いました

豊中市議会議員としての実績

議会で扱ってきた主要なテーマ

病児保育の使いやすさ (23年6月議会、24年3月議会、25年12月議会)

不登校児の居場所づくりとメタバースの活用 (23年6月議会、9月議会)

給食の質向上 (23年6月議会)

不登校、ひきこもり児童の切れ目のない支援、官民連携 (23年9月議会、12月議会、25年12月議会)



不登校支援に関する個人質問
YouTube



千里中央への企業立地促進 (23年9月議会)



*新・千里スタイル、の方向性「千里中央地区再整備事業補助金制度」より

これまでの豊中市

工業地帯、準工業地帯に対してのみの企業立地促進策が中心で、商業地帯へのオフィス立地促進策は取り組みがなかった。

23年9月議会 市橋の質問

千里中央のアクセスのよさ、ポテンシャルの高さを指摘。他市の事例も紹介し、開発・オフィス誘致の促進を要望。その後、千里中央への柔軟な企業立地促進策が動き出すことに。

数十億円規模の 大胆な 投資を進めます！

民間、経営者の視点を持つ市橋だからこそできる、千里中央エリアの大胆な投資・開発を進めます。市がまちやエリアのランドデザインを描き、民間企業と連携したまちづくりを進めます。

中央図書館を含む公共施設の管理計画の課題指摘 (23年6月議会)

送迎バスの児童置き去り防止策 (23年9月議会)

市の障がい者雇用の見直しが実現

(23年9月議会)



これまで身体障がい者しか応募できなかった常勤雇用の枠が、精神障がい者や知的障がい者にも開かれることとなりました。

曽根エリアの活性化と

豊島公園の民間活力導入 (23年12月議会)

市役所における民間人材の活用について (24年3月議会)

保健師の人員体制補強 (24年3月議会)

水道料金の値上げ案に反対、水道事業収益構造の見直しと持続可能な仕組みを要望 (24年6月議会)

電子投票制度の実現に向けて (24年9月議会)

市の人事制度と人材戦略について (24年9月議会)

病児保育の新設プロセスへの問題提起 (24年9月議会)

不登校児の支援における官民連携 (24年12月議会)

高校生世代のひきこもり支援 (24年12月議会)

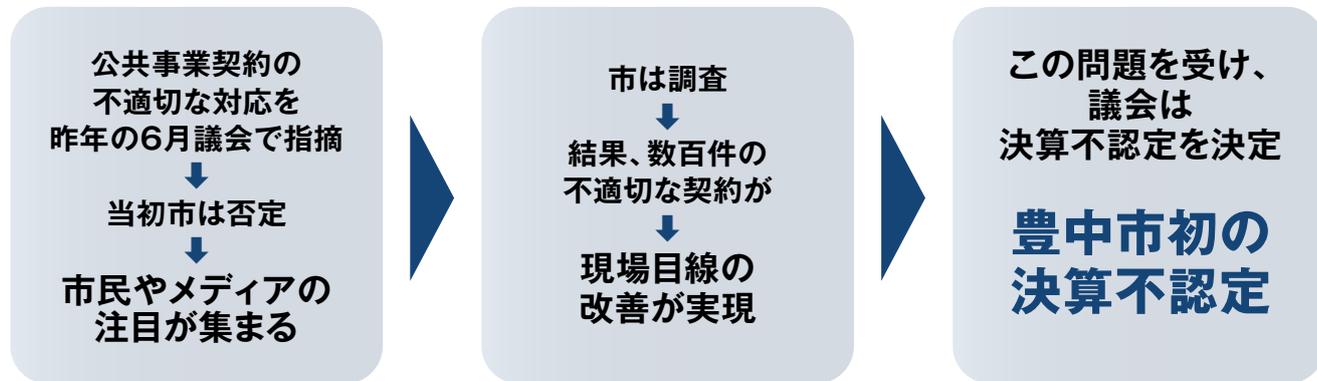


公共事業契約の不適切な対応の疑いを指摘 (25年6月議会、9月議会、12月議会)

これまで、懸命に市の課題に向き合ってきました。

豊中市議会議員としての実績

公共事業契約の不適切な対応の疑いを指摘 (25年6月議会、9月議会、12月議会)



市政報告第6弾



市政報告第7弾



公式SNS / チラシ
各メディアで発信

左記の市政報告チラシは
下のQRコードからご確認ください

市政報告第6弾

市政報告第7弾



議会以外での活動

3年間で50回以上の市政報告会の開催、市政報告チラシを7回発行、街頭活動、地域行事への参加、イベント主催など、幅広く活動



静かなる危機 **サイレント** クライシス

豊中は、このままでいいのだろうか。

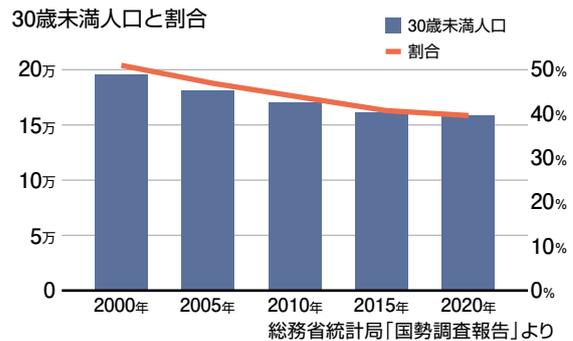
① 子育て環境が劣る豊中市

隣の大阪市より手薄な子育て政策

大阪市 保育料が第一子から無償化
⇔ **豊中市** 第二子以降のみ無償化

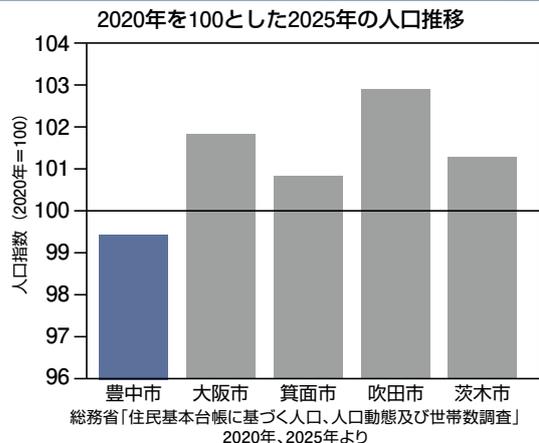
習い事・塾代助成
小5～中3対象で月1万円まで補助
⇔ **実施なし**

30歳未満の子どもや若者が減少



② 置いていかれる豊中市

周辺4市は成長
豊中だけが人口減少へ



③ 古い体質の市役所

3年間で2回の談合
不適切な契約が数百件発覚
さらに
議会では決算不認定



決算不認定に
関する個人質問
YouTube





例えば、中央図書館構想

これまでの豊中市

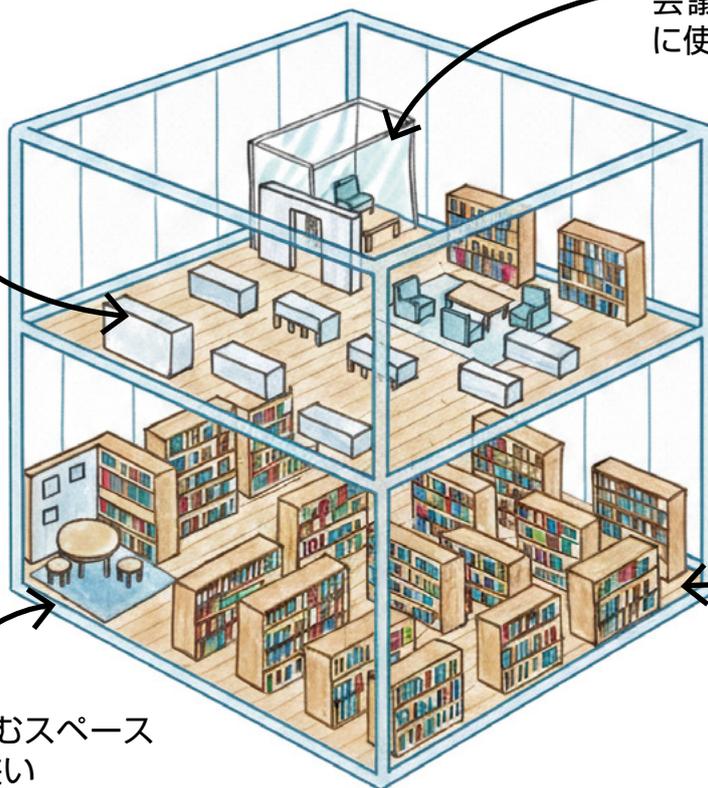
市役所目線のまちづくり

- 縦割り行政で「図書館統廃合ありき」の考え方
- 「立地優先」の計画策定
- 何年も読まれない、数十万冊の本を全て駅前の一等地に保管
- まちづくりに関わる重要な内容なのに、教育委員会中心で対応

図書館を中心に作られているため
それ以外の機能に魅力がなく
人が集まる場所になりにくい

保管蔵書が多いため、
会議スペースなど自由に
使える空間が少ない

自習スペースも
席が限られる



幼児が楽しむスペース
も小さく、狭い

大量の保管蔵書が
スペースを圧迫

2025年に**官民連携の失敗**で、
曾根ダイエー跡地での建設は
白紙撤回へ



これからの豊中市

あなたと共に創るまちづくり

今の豊中市に必要なのは、役所の都合ありきではなく
市民の声やニーズからはじまる柔軟な発想。

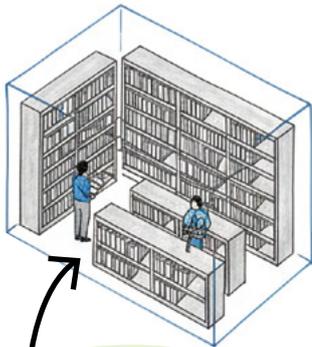
民間との連携や部署を超えたチームによる運用など、
新しい取り組みでもっとワクワクするまちづくりを実現します。

市橋ひろしが 聞いた 市民の声

- 何年も読まれていない本を駅前に置くなら、そのスペースを活用してほしい
- 学校帰りに駅前などで自習できる場所が欲しい
- 子どもが騒いでもいい空間で、子どもと絵本を読んで過ごせる場所が欲しい
- おしゃれなカフェ機能
- コワーキングスペースが欲しい
- ちょっとしたイベントスペースが欲しい
- 分館の廃止をしないでほしい

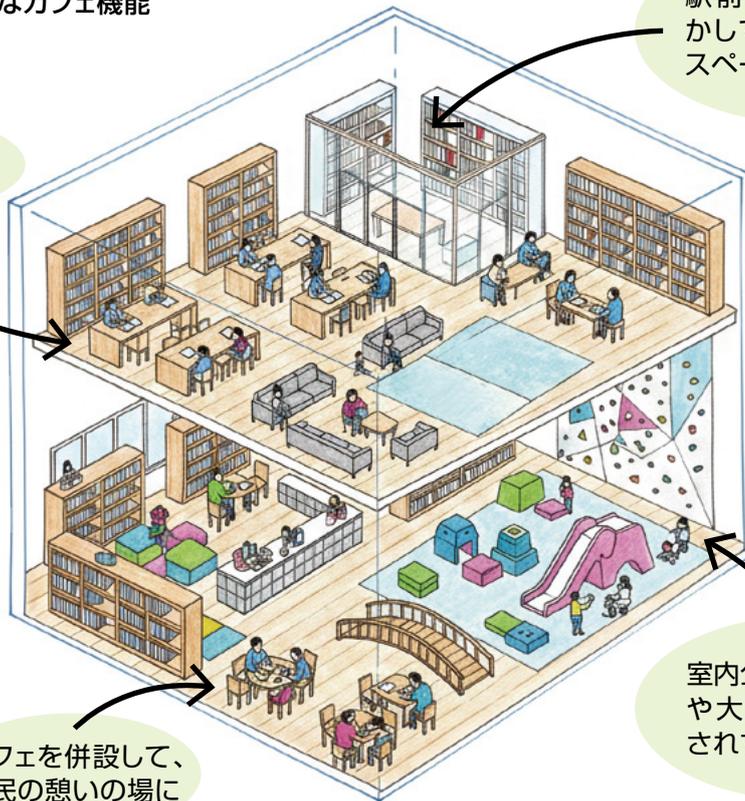
ゆったりとした机で、自習
や読書も自分のペースで

駅前という立地を活かして、コワーキング
スペースとしても使える



何年も読まれていない
書籍は、別の場所で管理
して必要な時はすぐに
使えるように

カフェを併設して、
市民の憩いの場に



室内公園として、子ども
や大人も天候に左右
されずに遊べる

市橋ひろしがやりたいこと

大規模な市民アンケート／分野横断的なプロジェクトチーム
タウンミーティング／蔵書機能の分離（二段階閉架）

「本を借りるだけの場所」から
「市民の多様な
ニーズに応える地域ハブ」へ

図書館の建設ありきではなく、市民の声から駅前の
一等地をどう活用するかという視点を。

例えば… 茨木市の「おにクル」

図書館だけでなく、
子どもの遊び場やプ
ラネタリウム、子育て
支援の拠点、コワー
キングスペース
やホールなど、市民
や時代のニーズに
合わせた複合施設。



(c) Nacasa & Partners Inc.

1 関西ナンバー1の子育て環境を



まずは、大阪市との
子育て格差をなくします。

子育て世代への徹底的な支援

一人目の子どもからの保育料無償化へ(現在は二人目から)

塾代・習いごと助成金の導入

病気の子どもの預け先(病児保育)の需要を再度調べ、効率的に運用

夏休みなどの休暇中の給食提供の検討

待機児童ゼロの実現へ向けた体制の見直し

子どもが多い家庭へ段階的に経済的な支援を強化(多子家庭の支援)

妊婦タクシー券の配布

不妊治療費用(先進医療費)補助の検討



そして、関西ナンバー1の
質にこだわる子育て環境を作ります。

学校の常識にとらわれない新時代に求められる教育

一人ひとりの個性に合わせた個別最適な教育の推進

早期からのキャリア教育や政治や社会を自分ごとと考える教育(主権者教育)の重視

デジタル教材の導入を積極的に推進

中高生の留学推進を通して豊中から世界を舞台に活躍する人材を生み出す

いじめ／学童保育／不登校／障がい児への徹底的な支援

いじめ問題への徹底的な対策「KIVAプログラム」の推進検討※

いじめ監察課の設置

不登校・ひきこもりの切れ目のない支援と
経済的支援の拡充、校内フリースクールの検討

オンラインでの不登校支援の拡充検討

障がい児の早期の専門的な支援と相談体制の構築強化

就学前健診の導入、アウトリーチや学校と民間事業所との連携強化

放課後こどもクラブの体制強化

児童発達支援センター、すこやかプラザの土日開庁を検討

※学校全体でいじめを予防し、早期発見・早期対応を行う実証済みのフィンランド発の教育プログラム。



小・中学校給食の質(味)の向上

もっとおいしい給食の実現に力を入れます

4年間で実現します。

すべての世代のための、 子育て環境支援

子育て世代に選ばれないまちは、持続できない

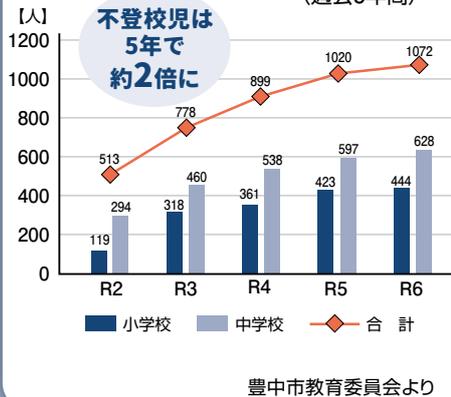
子育て世代に選ばれるまちになることは、税収や活気、働く場の維持など、すべての世代に恩恵をもたらします。しかし、豊中の子育て・教育の環境はまだ十分でなく、若者人口が減少してしまっています。

今こそ、徹底した子育て支援と、それを支える教育環境の充実が必要です。

豊中市立学校における いじめの認知件数 (過去5年間)



豊中市立学校における 不登校児童生徒数 (過去5年間)



例えばこんな市民の声を聞きました



Aさん
30代 男性

子育てのことを考えると、一人目から保育料無償、塾代の助成などの支援がある大阪市に魅力を感じます。家を買うタイミングで引っ越しも考えています。



大阪市の制度と比べたときに、豊中の支援が十分とは言えないと感じています。だからこそ、大阪市との差をまずは埋め、子育ての安心度や将来の選択肢で選んでもらえるまちにしたいと考えています。



Bさん
30代 女性

子どもが発達支援を受けています。豊中のインクルーシブ教育は良さもあるものの、支援が不十分です。先生が足りていないのかな?とも感じます。



豊中のインクルーシブ教育は、現場にはまだまだ課題があると感じています。発達支援の事業所を運営していたなかで、多くのお声を聞いてきました。就学前健診の実施、早期支援や相談支援、専門職によるアウトリーチなどの総合的な支援の拡充が必要だと思っています。



Cさん
40代 女性

放課後子どもクラブで働いています。今の放課後子どもクラブは、子どもたちの人数に対して部屋があまりに狭く、支援員の数も足りていません。見守ることに精一杯です。



放課後子どもクラブの利用者数の過去最高を記録しており、物理的な空間の不足や働く人の数や人材育成の不足などは大きな課題だと認識しています。放課後子どもクラブの質、量的な整備の徹底に取り組んでいきます。放課後子どもクラブの体制強化に取り組んでいきます。

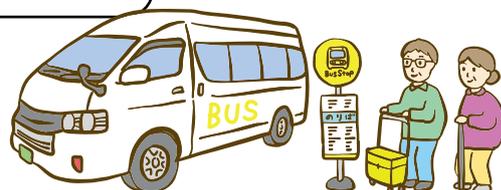
2

民間の力を引き出すまちづくりで



まずは、
交通利便性の向上を行います。

地域主体のコミュニティ交通の検討
乗合タクシー利用の促進と使いやすさの向上
高齢者や妊婦などの特別な移動ニーズのある人のために



そして、市内に出かけたくなる
場所を増やします。

駅前を「通り過ぎる場所」から「立ち寄りたくなる場所」へ

豊中駅前：多世代交流・子育て拠点の整備や若者や家族連れが楽しめる店を誘致する
蛍池駅前：空の玄関口としてみんなが滞在したくなる場所へ

千里中央：金融・IT企業誘致と立地を活かした
数十億円規模の大胆な投資と開発を市がリードして進める

庄内エリア：音楽のまちとして大阪音楽大学と連携しリブランディングを促進

駅前再開発の解体補助やリノベーション補助などで
まちの新陳代謝を促します



もっと便利で楽しい公園や居場所づくり

雨の日や夏の暑い日も遊べる子育て拠点を整備
市内各地にドッグランを設置
ダンス会場やスケートボードやスポーツクライミングなどアーバンスポーツの拠点整備
おしゃれなカフェやレストランが立ち並ぶ公園づくり



市民参画型のまちづくり

駅前や公園の社会実験やアイデア募集を行い、市民の提案を施策に反映
中央図書館構想は、再度大規模な市民アンケートを実施し方針を決定



大阪府管轄の緑地公園。維新が主導した官民連携が成功した良い例。

行きたくなる場所を増やします。

こんな市民の声から 生まれました

行きたい場所が少ない！

友達と放課後に遊びに行く場所が少ない。カラオケくらいしかありません。映画館とかショッピングできる場所とかが欲しいです。(10代 女性 学生)

ドッグランが欲しい

犬と一緒に遊べるスペースが少なく、ペット連れで行ける場所が限られています。ドッグランが欲しいです。(50代 女性 主婦)

交通が不便！

豊中市の乗合タクシー「Mina Notte (みなのとて)」はありがたいですが、通院では帰りの時間が読めず、結局帰りのタクシー代を自腹で払うことが多いです。(70代 女性)

市民病院に行きづらいです

神崎刀根山線エリアに住んでいます。足が不自由な母の手続きで市役所や通院で市民病院に行く時に、バスの路線がなく、乗り継ぎが複雑で本当に困っています。(60歳 男性 会社員)

買い物するところがない

子どもの靴や日用品を買おうとしても近くに選択肢が少なく、結局他市まで出かけています。(30代 女性)

妊娠していると外に出られない

現在妊娠8カ月で、家が駅から遠くバス停もないです。安全面から車の運転なども止められて、一人で外出できません。コロナ禍に配布されていた妊婦タクシーチケットが欲しいです。

豊中駅前はやることがない

本当に行くところがありません。最近スタバができたのは嬉しいですが、結局は友達と梅田に行くことが多いです。(20代 女性 会社員)

もっとまちがにぎわう 再開発を期待していた

阪急沿線の駅が昔のままで、特に服部天神駅前開発にはがっかりしました。(60代 女性)

駅前を通りすぎるだけ！

昔と比べて駅前に古びた店が増えたなと感じます。岡町商店街もシャッターが増えました。(60代 男性)

公園などの魅力不足！

庄内エリアに住んでいますが、雑草の手入れが追いついていないことがよくあります。子どもを連れて行くと虫刺されなどが気になります。(40代 男性 会社員)

行きたい場所が少ない！

豊中ではワクワクするイベントやスポットが少ないです。休日は家族と車でEXPOやキューズモールに行くことが多いです。車を出さずに行ける場所が欲しいです。(40代 男性 会社員)

あなたの声を聞かせてください！

☎06-6152-5975

※いただいた声や個人情報は事務所にて厳重に管理し、目的以外一切使用いたしません。

LINE LINE入力→

LINE公式アカウント
友だち追加お願いします



3

談合が続くほどの市役所の



まずは、身を切る改革により
リーダーが率先して改革への覚悟を示します。

身を切る改革 (市長給与2割カット・退職金ゼロ)



そして、脱お役所仕事、
脱なれあい政治を実現します。

談合を許さない徹底した情報公開

公共事業契約のオープンデータ化による透明化、AIによる談合解析の検討
補助金用途の見直しと公開方法の見直し
談合などの罰則強化



頑張る職員が報われる人事制度

管理職、副市長の民間人登用と公募の活用
デジタル人材の積極登用
人事評価制度へのインセンティブの強化



財政の活性化、事業刷新

稼ぐ市役所へ：企業版ふるさと納税、デジタルサイネージなどの歳入確保の強化
市立病院の財政再建と経営体制刷新や広域化



さらに、市民の声が届く
仕組みを作ります。

北部、中部、南部の出張所機能の強化と エリアマネージャーの配置

各出張所(支所)でのエリア別タウンミーティングの定期開催
エリアマネージャーとなる市職員を中心に、
各エリアでの課題解決やまちづくりを柔軟に行う
北部、中部、南部の出張所(支所)機能の強化

エリア別の活性化と官民連携と権限移譲

エリアごとの特性に合わせた祭りや町内行事などの
支援と若者参加の推進
官民連携による行政サービスの充実



古い体質を刷新します。

しがらみを断ち切り、
クリーンな市役所へ。

豊中市役所には
構造的な改革が必要



市民の声から透明な市政の実現へ

ことの始まりは、市民からの相談でした。直近で2度も談合が発覚していたため、数千枚の資料を一つひとつ確認。調べる中で、不自然な契約金額や特定業者への偏りが明らかになりました。他市の事例も参考に改善策をまとめ、市へ提言。市民の声を出発点に、クリーンな市政へ一歩前進しました。

メディアにも取り上げられた 豊中市初の決算不認定

豊中市は公共工事の不適切な契約を何度も繰り返していました。入札にする必要のある高額な工事を分割し、随意契約を特定の業者とばかり交わしていました。

これに対し、市議会は公平性や透明性を欠く重大な問題だとして、決算を不認定としました。この問題はメディアにも取り上げられる事態となり、全国に「前例踏襲のお役所仕事」と「特定の事業者とのなれあい」が知れ渡ることとなりました。

- 令和4年 談合が発覚
- 令和5年 談合が再度発覚
- 令和6年 不適切な公共工事発注発覚
豊中市初の決算不認定



市民の声が市政に届かないのは、市役所のあり方が古いから

市役所が
地域に応じた市民の声を
拾えていない



市民の声に向き合い
テーマやエリアごとに話せる
機会を作ります



市民の声から
生まれる

政策集



まちづくり

- まちかねポイントのわかりやすい運用と使いやすさの向上
- 地域課題の可視化と市民参加の創出
 - ▶ これまで地域が担ってきた役割を失わせない支え合いを属人的なものから仕組みへ
 - ▶ 祭りや町内行事などの支援と若者参加の推進
 - ▶ 自治会などの地縁型団体(自治会・町内会・PTA・消防団など)の役割の見える化と整理、新しい世代への関わりしるの提示
- 多様性を認め、力に変える社会づくり
 - ▶ 障がいの有無、性的指向、出身などによらずに誰もが活躍できる社会
- 空き家対策の促進と規制緩和
 - ▶ 都市計画における最小敷地面積規制
- 女性の就労・自立を後押しする支援に加え、DVや経済的困難など複合的な課題を抱える女性に対する切れ目のない支援を整備
- 働く男性へのソーシャルサポート、離婚前別居世帯への経済的支援の検討
- 外国人などの多様なルーツを持つ人を地域の担い手の一人として包摂する仕組みづくり
- 兄弟都市沖縄市との交流促進
- マイナンバーと公金受け取り口座紐づけのインセンティブ設計
 - ▶ 申請の簡素化、事務手数料削減、即時支援ができる体制強化



産業・雇用・官民連携

豊中の経済を内(地元)と外の力を用いて活性化

- 官民連携と規制緩和
 - ▶ 官民連携のさらなる促進と、行政による創業や事業のサポート
 - ▶ 健全な競争を生み出すための規制緩和の実現：都市地区計画の抜本的な規制緩和
 - 人口減少社会や多様な家族形態の実情とニーズに即した住宅の供給強化とポテンシャルを適正に反映させ、流動性を高めることで、空き家を減らし、安全で豊かなまちづくりを行う
- 地域の事業者を育てる
 - ▶ 既存中小企業の課題解決支援(小売、卸売業)
 - ▶ オープンデータの活用による地元課題解決事業の支援
 - 豊中市が抱える課題解決コンペの実施(例:公共交通&観光データを活用)
 - ▶ コワーキングスペースの整備
- 地域の特色を生かした企業の誘致:企業立地戦略の再設計
 - ▶ 特区・補助金を活用した企業オフィス設置サポート(千里中央)
 - ▶ 既存産業と相乗効果を生む企業誘致(南西部)
- エssenシャルワーカーの支援
 - ▶ 保育士、介護士の就職、生活、子育てに関して支援金支給強化
- 障がい者雇用や高齢者雇用などの啓発と促進
 - ▶ 申請の簡素化、事務手数料削減、即時支援ができる体制強化



健康・医療・福祉

- **地域医療と健康づくりの推進**
 - ▶ 感染症対策の充実
 - ▶ 「地域医療推進基本方針」に基づき、救急・在宅医療連携を強化
 - ▶ 特定健診・がん検診の受診率向上と重症化予防
 - ▶ フレイル・認知症・メンタルヘルス対策の継続的推進
- **高齢者・障がい者福祉の充実**
 - ▶ 地域包括支援センターの機能強化と介護人材の定着支援
 - ▶ 介護福祉士などの専門職の待遇改善
 - ▶ 障がい者の就労・相談支援とバリアフリー環境の推進
- **生活困窮・孤立防止への支援強化**
 - ▶ ワンストップ相談体制とアウトリーチ支援の強化
 - ▶ 就労支援・住まい支援の強化による自立促進
 - ▶ 地域見守り・居場所づくりによる孤立防止
- **持続可能な医療・福祉事業の運営と体制づくり**
 - ▶ 市民病院の再建と持続可能なモデルの構築
- **動物愛護の促進**



インフラ・防犯・災害対策

- **インフラ**
 - ▶ 周辺自治体との広域上下水道運営の検討
 - ▶ 水道料金の通増性の緩和と収益構造の見直し
 - ▶ 大阪国際空港のさらなる活用、短距離国際線の検討
- **防犯**
 - ▶ 地域の防犯や災害対策を強化し、もっと安心して暮らせるまちへ
 - ▶ 郵便・新聞・宅配・民生委員と連携した見守りネットワークの強化（異変時の通報体制）
 - ▶ 防犯カメラの増設、夜間の暗い道の街灯の増設、または明るさの改善



文化・環境・スポーツ

- **文化の継承と地域活性化**
 - ▶ 市民・団体・学校との協働による文化活動支援
 - ▶ 高校野球発祥のまちとしてのブランド強化
 - ローズ球場の多用途での活用を検討
 - ▶ 庄内エリアを中心に音楽のまちとしてのブランディングを推進
 - 大阪音楽大学との積極的な連携
- **環境・脱炭素への確実な取組**
 - ▶ 「第3次環境基本計画」に基づく脱炭素・ごみ減量の推進
 - ▶ 公共施設の省エネ化・緑化の計画的整備
 - ▶ 市民参加型の環境学習・啓発活動の継続
- **スポーツの裾野拡大と健康づくり**
 - ▶ アーバンスポーツ推進
 - 施設整備の検討（スケートボードやボルダリング施設・小ステージ・グラフィティウォールの設置）
 - ▶ 高齢者・障がい者を含む誰もが楽しめるスポーツ機会の充実

皆様の声にお答えします！ 市橋へのQ&A



Q 市橋さんは子育て世代ばかりを重視しているように見えます。高齢者は後回しですか？



A そんなことはありません。子育て世帯が増えることは、将来の税収や地域の担い手を増やすことにつながり、結果的に高齢者福祉を持続可能にします。「子育て支援」と「高齢者支援」は対立するものではなく、支え合う関係です。もちろん、健康寿命の延伸や支援の充実などにも注力し、誰もが安心して歳を重ねられるまちをつくってまいります。



Q 維新の改革は「身を切る改革」ばかりで福祉が削られるのでは？



A 削るのは「無駄」であって、必要な支援ではありません。13年間、福祉業界に関わってきました。談合や不透明な随意契約が続けば、本来市民に回るはずの予算が失われます。私が目指すのは、「無駄を減らし、本当に必要な人に手厚く届けること」です。財源をつくり、支える力を強くするための改革です。



Q 現在の豊中に大きな問題は感じません。なぜ変える必要があるのですか？



A 一見安定して見える今こそ、変えるべき時です。人口減少はすでに始まり、近隣市との差は広がっています。いじめや不登校も増加傾向にあります。危機は突然やってくるのではなく、静かに進行します。「静かなる危機」を見逃さないことが、次の世代への責任です。



Q 市橋さんはまだ若いです。市政を任せて本当に大丈夫ですか？



A はい、大丈夫です。30年後も現役世代の私だからこそ実現できる改革があります。まちの未来の当事者として、柔軟な発想と実行力で前に進めます。近隣自治体でも若い市長が成果を上げているように、若さは強みでもあります。



Q 豊中市の外国人市民投票条例は3カ月だけ豊中に住めば投票できるため、危険だとネットでみて不安になりました。この条例をなくすべきだという意見もあるようですが、市橋さんはどう考えていますか？



A お気持ちはよく理解できます。特に、3カ月が妥当なのか、また安全保障などの政治的テーマが絡む場合は対象外とするべきか、などの参加条件に関する議論はあっても良いと考えています。一方で、すでに施行されている条例を危険だからという理由で廃止とするのは、納税し善良に暮らす外国籍の方々への排除のメッセージと受け取られかねません。合理的な基準と公平な議論を重ねることが重要だと考えています。

豊中に、新時代を。

— 改革と対話の先にある未来 —

ここまで読んでくださり、ありがとうございました。

この政策集は、豊中市に暮らす皆様との対話から生まれました。

子育ての悩みを打ち明けてくれたお母さん。

年金や医療への不安を語ってくれたご高齢の方。

将来に迷いながらも、このまちで頑張りたいと話してくれた若者。

日々、地域を支えてくださっている事業者の皆さん。

そんな、たくさんの声が私をここまで導いてくれました。

人口が減っていく時代です。

これまでと同じやり方では、未来を守ることはできません。

だからこそ、ムダを見直し、仕組みを変え、

生まれた力を次の世代の子どもたちや

本当に支援を必要としている高齢の方、障がい者のために使いたい。

何を残し、何を变えるのか。

それは市民のみなさんと対話し、

一緒に向き合っていきたい。

「豊中で暮らしてよかった」

そう思えるまちを創るために、

全てをかけて、挑戦いたします。

あなたの声を聞かせてください。

市橋ひろし



ともに改革に挑む仲間たちです



日本維新の会代表
吉村洋文

衆議院(大阪8区)		大阪府議会(豊中市)			
	衆議院議員 うるま 正義		大阪府議会議員 うすだ まさひろ		大阪府議会議員 木下 昌久
豊中市議会					
	豊中市議会議員 花井 けい太		豊中市議会議員 藤田 ひろし		豊中市議会議員 大田 やすはる
	豊中市議会議員 くは 良孝		豊中市政対策委員 太田 ただひこ		豊中市政対策委員 千葉 さやか



日本維新の会共同代表
藤田文武